



4 本出しの社外マフラー エアロが、後ろ姿も精悍に彩る。22インチの大径ホイールをピタピタに履きこなしているのも、このクルマがただの4ドア車ではないことを印象づけるディテールだ。



メタル調加飾を効果的にあしらったインパネには、メカニカルなスイッチ類が並び、ポルシェらしい硬質さを演出する。

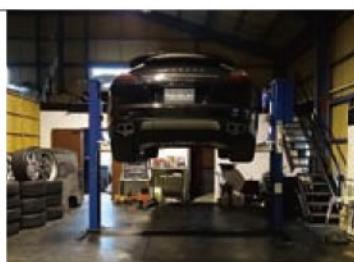


身体をしっかりとサポートしながら、かけ心地もいいシートはポルシェの伝統。ハイバックのデザインもスポーティだ。

全国必見!!の ショッピング5傑 オートギャラリー特集

AUTO GALLERY FUKUOKA
TEL 092-513-9777
住所: 福岡県福岡市博多区金の匂2-25-15
営業時間: 10時~20時 火曜定休
HP: <http://www.autogallery-fukuoka.jp/>

福岡空港や博多駅からも近い国道3号線沿いに位置する、オートギャラリーグループの九州拠点。九州地区ではまだ数少ない直輸入車、逆輸入車のスペシャルショップとして、世界のクルマを取り揃える。アメリカ車、逆輸入国産車からヨーロッパ直輸入のポルシェやメルセデスベンツなど、豊富な在庫は九州一を誇る。隣接した自社工場で購入後のアフターサービスも完璧にこなす。他店で購入した輸入車のメンテナンスもOKだ。



店舗に隣接した自社工場では、購入後のアフターサービスも完璧にこなす。他店で購入した輸入車のメンテナンスもOKだ。

868万円なら、1000万円以上のディーラー新車価格と比べると、お買い得感も高いはずだ。

これまでV6またはV8のエンジンを縦置きにする後輪駆動で、快適な乗り心地と俊敏なハンドリングを両立。そのコンセプトと出来ばえは、ポルシェが新しいカタゴリーにすっかり自信を持つて臨んだことをうかがわせ、事実、見事に成功させたのだ。

オートギャラリー福岡に展示されていたのは、11年のV6モデル。3.6Lの排気量を持つベーシックなグレードだが、オリジナルのフルエアロや22インチのターボ用ホイールなどでドレスアップされ、実用性とスポーツ性を次元で両立させたパナメーラの個性を引き立てている。

これだけ決まっていながら



フォーマルセダンの使い勝手と
アスリートの走りを持つ新世代ポルシェ

2011 PORSCHE PANAMERA V6

868万円

車検なし 走行31,000km ブラック 7AT(PDK)
フル装備 エアバッグ SR ベージュ革シート
キーレス バイキセノンヘッドライト オリジナル
フルエアロ 22インチターボ監修モール
GTHAUS可変式マフラー シートヒーター ド
ライバースメモリーPKG 左H リ未別 修復
歴ナシ 当社直輸入 保証付き 車台番号:859



低いポジションの後席は、センターコンソールで左右の独立感の高い空間とされている。



欧州ではトランクルームの広さは重要なクルマ選びのポイント。トランクスルーも装備される。



強力なブレーキシステムはポルシェの命。4ドアのパナメーラであっても、それは同じだ。



ハッチゲートを備えるが、後ろ姿には実用車とは異なる主張が感じられるのが個性だ。



4ドアながら流麗なフォルムはフォーマル感も備え、タイトアップしてフォーマルな場に乗りつけるのもOKだ。



精悍な顔だちはポルシェのスポーツカーそのもの。エアロが迫力をさらに引き立てる。

**新しいファンを開拓した
ポルシェのサルーン**

SUVのカイエンで新しいカーポリシーへの参入を成功させたポルシェが、次に狙つたのが高級サルーン市場。2010年に発表されたパナメーラは、まったく新しいユーチャー層を開拓して見せた。低く構えたボンネット回りの表情は、前から見るとポルシェのサイドには4枚のドアが備わり、スポーツカーそのものの。しかし、サルーンのフォルムを持つている。リヤにはハッチゲートがあり、使いたい勝手はセダン以上だ。V6またはV8のエンジンを縦置きにする後輪駆動で、快適な乗り心地と俊敏なハンドリングを両立。そのコンセプトと出来ばえは、ポルシェが新しいカタゴリーにすっかり自信を持つて臨んだことをうかがわせ、事実、見事に成功させたのだ。

オートギャラリー福岡に展示されていたのは、11年のV6モデル。3.6Lの排気量を持つベーシックなグレードだが、オリジナルのフルエアロや22インチのターボ用ホイールなどでドレスアップされ、実用性とスポーツ性を次元で両立させたパナメーラの個性を引き立てている。

これまでV6またはV8のエンジンを縦置きにする後輪駆動で、快適な乗り心地と俊敏なハンドリングを両立。そのコンセプトと出来ばえは、ポルシェが新しいカタゴリーにすっかり自信を持つて臨んだことをうかがわせ、事実、見事に成功させたのだ。

オートギャラリー福岡に展示されていたのは、11年のV6モデル。3.6Lの排気量を持つベーシックなグレードだが、オリジナルのフルエアロや22インチのターボ用ホイールなどでドレスアップされ、実用性とスポーツ性を次元で両立させたパナメーラの個性を引き立てている。

これまでV6またはV8のエンジンを縦置きにする後輪駆動で、快適な乗り心地と俊敏なハンドリングを両立。そのコンセプトと出来ばえは、ポルシェが新しいカタゴリーにすっかり自信を持つて臨んだことをうかがわせ、事実、見事に成功させたのだ。

オートギャラリー福岡に展示されていたのは、11年のV6モデル。3.6Lの排気量を持つベーシックなグレードだが、オリジナルのフルエアロや22インチのターボ用ホイールなどでドレスアップされ、実用性とスポーツ性を次元で両立させたパナメーラの個性を引き立てている。